

「ホワイト物流」推進運動

持続可能な物流の実現に向けた自主行動宣言

企業・組合名	役職	氏名	所在地	主たる事業	ホームページ
マクセル株式会社	代表取締役 取締役社長	中村 啓次	京都府	製造業	https://www.maxell.co.jp/

当社は、「ホワイト物流」推進運動の趣旨に賛同し、以下のように取り組むことを宣言します。

最終更新:	2021/09/08
-------	------------

(取組方針)

・事業活動に必要な物流の持続的・安定的な確保を経営課題として認識し、生産性の高い物流と働き方改革の実現に向け、取引先や物流事業者等の関係者との相互理解と協力のもとで、物流の改善に取り組めます。

(法令遵守への配慮)

・法令違反が生じる恐れがある場合の契約内容や運送内容の見直しに適切に対応するなど、取引先の物流事業者が労働関係法令・貨物自動車運送事業関係法令を遵守できるよう、必要な配慮を行います。

(契約内容の明確化・遵守)

・運送及び荷役、検品等の運送以外の役務に関する契約内容を明確化するとともに、取引先や物流事業者等の関係者の協力を得つつ、その遵守に努めます。

No.	分類番号	取組項目	取組内容
1	A ①	物流の改善提案と協力	・取引先や物流事業者から、荷待ち時間や運転者の手作業での荷卸しの削減、附随作業の合理化等について要請があった場合は、真摯に協議に応じるとともに、自らも積極的に提案します。
2	A ⑧	出荷に合わせた生産・荷造り等	・出荷時の順序や荷姿を想定した生産・荷造り等を行い、荷待ち時間を短縮します。
3	A ⑩	リードタイムの適正化	・トラック運転手が適切に休憩を取りつつ運行することが可能になるように出荷予定日、及び着荷予定日を設定します。
4	D ②	異常気象時等の運行の中止・中断等	・台風、豪雨、豪雪等の異常気象が発生した際やその発生が見込まれる際、無理な運送依頼を行いません。また、運転者の安全を確保するため、運行の中止・中断等が必要と物流事業者が判断した場合は、その判断を尊重します。
5	F ①	出荷元・物流業者の現況確認	必要に応じ出荷元・物流業者側両社の現況確認を実施します。 改善要望や改善可能事項があった場合は「持続可能な社会の実現」に向け施策を実行します。

PR欄	<p>マクセルは経営の基本方針に関わるキーワード「(MVVSS) MISSION VISION VALUE SPIRIT SLOGAN」を掲げています。 MISSION: 「独創技術のイノベーション追及を通じて持続可能な社会に貢献する」 VISION : 「独自のアナログコア技術」で社員・顧客・社会にとっての「Maximum Excellenceを創造する」 VISION実現手段としてアナログコア技術を強みに [Technological Value] [Cusomer Value] [Social Value] 3つのVALUEを提供します。</p>
-----	---